



# 魔女裁判 (Hexenprozess)



日時 : 2017年6月1日(木)  
15:00~18:00

場所 : 関西大学 千里山キャンパス  
児島惟謙館1階第1会議室

聴講自由・申込不要

講演

ハラルド・マイホルト氏 (Harald Maihold)

関西大学法務研究科招へい研究員

※講演言語:ドイツ語

通訳

森永 真綱

甲南大学法学部准教授

司会

川口 浩一

関西大学院法務研究科教授

刑法史の研究者(特にその博士論文『他者の責任に対する帰責 (Haftung für fremde Schuld, 2005)』が有名)として知られるハラルド・マイホルト博士による「魔女裁判」に関する学術講演会を開催します。従来の通説によれば責任主義などの現在の刑法の基本原則は、近代以降に初めて形成されたものと理解されてきましたが、マイホルト博士によれば、すでにそれ前の中世(特にスペイン後期スコラ学派など)においても主張されていたものであり、そのことは、多くの資料によって裏付けることができるものです。このような最近の研究成果に基づいて、これまで注目されてこなかった近代以前の刑法史を見直す画期的な講義と講演であるといえるでしょう。